

第一日目
支笏湖～札幌～道庁

2012 バイク旅道南、東北

2012.07.23～08.01



仕事を辞めてから始めたバイク旅、4回目となる今回はこれまで行った事が無かった日本海側の海沿いを南下するコース、**峠と湖と山**を渡る 7日間の旅だった。

水明郷パーキング周辺案内板



千歳空港から支笏湖まで月がかりの峠で緩やかな下り坂が続く道の両側に球状のツキの葉が密生している。
そしてクマ出没注意の立て札が緊張感をよぶ。
静けさの中を突如 F4 戦闘機が低空飛行で脱走、その騒音は一瞬何が起きたかと思った。

支笏湖 透明度が高くきれいだ、水深は田沢湖に次ぐ 360m



支笏湖～札幌の峠越え 北海道らしいきれいな道路だ、ただ想像した以上にきつい山越えが続き第一日目にして堪える





札幌駐在 バッセルトンでのアズリート仲間と今宵を共にした

第二日目

札幌～小樽～積丹半島



小樽運河沿いは観光客で賑わっていた、ただほとんどは外国人客だった。



小樽から余市、積丹半島に至る海岸線にはまだ古い危険なトンネルもあり、途中会ったサイクリストから得た情報により旧道の山越えの道を選んだ。



人がやっと立って歩ける程度のトンネルをくぐると横丹岬の展望台であった。



「しゃこたん温泉 岬の湯」今回ルートが目玉地点

高台から神威岬を遠くに眺めるこの露天風呂は期待を裏切らなかった。



「旅館 北海」海の幸が並ぶ ウニ、アワビ、イカめし...どれもおいしい

ただ箸とシタがあった。昨夜の飲み過ぎ、二日目の疲れはもはやこれらを消化するには弱かった極だ 夜中、腹の異常に苦しむ事となった。

第三日目

横丹～岩内～寿都～島牧



横丹半島から岩内に至る海岸線を走る道は次から次にトンネルが続く、ただ何れも古いトンネルが新しくなっており中は明るく車もほとんど通ることはなく危険を感じない。この辺は御路万前峠霧が出る事が多いとの事、今日も霧雨模様だ。

岩内から寿都町に至る海岸には特に長いトンネルが多い、中でも雷電トンネルは最も長く 3570mだった。トンネルもさることながらこの辺一帯の海岸線は「風のふるさと」の名に恥じない？向かい風に渡り困難だった。



道の駅「よつげ温泉」に隣接するユースホステル
途中の道の駅で、旅行者の情報により決めた今日の宿、今は酒もOKで制約も感じなく、普通の宿と変わらないと感じた。



東西日程
湯沢～高輪～乙部町



高輪町からは峠となっている、峠を越えてから
今日の宿を決めよう
天候は最高、体調も回復バイク日和だ

親子熊
こじ付けが多い奇岩名の中に
してこれは解説がいらぬ



乙部町の入り口にはなかなかの見晴展望台があった。



乙部温泉

夜の露天風呂もなかなか乙なものだ



第五日目

乙部～江差～上の国町～松前～函館市



江差港のコンクリートで復元された開陽丸
この沖で座敷船脱した

上ノ国町から松前町に向かう道はこれまでの海岸線沿いを走る道から少し高台に移り、当然起伏は大きくなるが雄大な景色に変わった。時より驟雨に見舞われたがむしろ快適だった。工ナビも信号もない約40kmの道が続いた。



松前城、再建された城はコンクリート製だった。



第八日目
福島町一本道の大通り



朝オリンピックの開会式を見てから福島を出発。
ここ福島町は北海道側青函トンネル工事の立て仮工事
地点で当時は賑わった様だ。
そして樺岡千代の富士の出身地で記念館があった。

木古内沖には未だ破船沈没し眠っている。
幕末、戊辰戦争当時の歴史を感じさせられる。



佐の時期に一度訪れたことがあったが、今日はただ暑い。





函館新市を見学、列車で津軽海峡をくぐり青森に向かう



青森側の津軽海峡駅で下車
龍飛岬に向かった



龍飛岬は霧がかり幻想的だった
そして「津軽海峡冬景色」の曲が流れていた

龍飛岬からは峠越えの道しかない！
まだ 16:00 前なのに霧が立ち込め夕暮れの様だ！
10%を超えるこんな坂が 10km 程続き続けた！
振り返ってみれば今回最大の山岳コースだった！



第八日目！
十三湖～龍ヶ沢～不更山死温泉！

ここ十三湖は汽水湖でシジミ漁が盛んである。朝 7:00 湖畔の宿からはシジミ採りの船が頻りに出入りする光景が見えた！



メロン道路とか自衛隊道路とか呼ばれているペンセ温泉の中を南北に走るこの道は道末を走っているかの錯覚に陥る景色だ！

やがて道は内陸部から海岸沿いに出た！
ここ龍ヶ沢付近からは五尾線と挟み海岸線とを交錯しながら並走する光景が続く！





津軽から能代に至る五能線沿線の風物詩、この光景は旅になる。



男鹿半島の先端 入道崎



第十日目

男鹿半島一歩出陣

男鹿半島から秋田駅に到着。今回の旅の終着点とした。
山形まで南下しようとの思いもあったが、ここからは幹線道路
となるので精神的負担が大きくなる事を感じそう決めた。



秋田新幹線で夜路に
車中の人となり、事故、怪我なく旅が終る事に安堵していた。
特に今年はバイク自燃事故を起こした事もあり無事故の大事さ
を痛感している。

バイカー人旅 道南、東北 ルートマップ

2012.07.23~08.01

